



## 歩みを振り返って

校長 池田 和彦

西体育館前の紅梅、白梅がふくよかな香りを漂わせ、ようやく春の気配が感じられるようになりました。「梅一輪 いちりんほどの 暖かさ」松尾芭蕉の弟子である服部嵐雪の句ですが、昔から、人々は梅の花を愛し、梅の花を人の生き方になぞらえてきました。それは、花のもつ清楚な美しさと、春に先駆けて咲くけなげさが人々の心を打ったからでしょう。

子供たちと和やかに話をしていると、相手が子供だということをつい忘れてしまう瞬間があります。自分の考えたことや伝えたいことを、一生懸命に理路整然と話す子供たちは、とても立派で年齢を忘れてしまうほどです。逆に、ついさっきまで立派なことを話していた子供が、実際に何かをやらせてみると、まったくできなくて驚かされることがあります。これは、会話や大人びた動作によって、我々が無意識に子供たちに過剰な期待をかけていることに起因するでしょう。「そのくらいのことはわかっている、できるはず」といった思い込みです。こうしたことは、多くの保護者の皆さんも日常的に経験していることと思います。子供たちは人間として、私たち大人と全く対等です。ところが、能力や発達はまだまだ発展途上にあります。経験も知識も圧倒的に少ないのです。

例えば、大人は子供の卒業式に出るときは、卒業式にふさわしい服装で出かけます。ですが、子供にはふさわしい服装が十分にわかりません。ですから、大人はどういう服装や振る舞いをしなければいけないのか事前に指導し、説明する必要があります。「子供を子供として扱う」ということが大人には求められるのです。

また、子供が間違った言葉遣いをするのを聞いたことがあると思います。時にはなぜそんな酷い言葉を遣うのだろうと感じたことがあると思います。それは多くの場合、子供たちはその言葉のもつ酷い背景を知らなかったり、その言葉を受け取った人の心情を思いやることができなかつたりするからです。ですから、大人たちは厳しく叱るのでも、怒るのでもなく、その言葉のもつ意味を伝えることが大人の仕事です。その場で伝えることも大切ですし、また違う場面で気持ちに訴えることも一つの方法です。その積み重ねが人を傷つけない言葉を選ぶことのできる大人へと繋がります。

重い荷物を持っている高齢者に手を貸すのは、大人には当たり前です。人の話を聞くときには、向き合って姿勢を正すのも大人には当たり前です。任された仕事を最後まで片付けるのも当たり前です。それらのことを今、学び、成長しているのが子供です。大人が子供を尊重する、ということは、当たり前のことを大人の責任としてきちんと教え、はぐくむことに他なりません。同年代の子供たちが集団になって生活する学校において、子供たちに当たり前のことをしっかり教え、その学びに向けての頑張りを見付け、誉め、励ましていきたいと思ひます。

3月は、子供たちが1年間の歩みを振り返り、自らの成長を確認し、次の学年、学校等に向けての心の準備や期待を抱く時期です。4月に進級した6年生、9年生はまもなく卒業を迎えます。健康にそして精神的な強さをもって新たな環境に飛び込んで自分自身を作り上げてほしいと思ひます。「一期一会」。出会いは、人生を変えるほどの大きなものです。小さな出会いを大切にはぐくみ、自分の世界を広げていってほしいと思ひます。

保護者の皆様、地域の皆様には、今年1年間、さまざまところで多大なご支援・ご協力をいただきました。ありがとうございます。心より感謝申し上げます。

## 令和4年度 第12回学習発表会

小学部図工専科 太田 初夏

2月8日(水)～2月10日(金)の3日間にわたり、『みんなで輝く 桜色の芸術 ～笑顔あふれる最高の日～』のローガンのもと第12回学習発表会が行われました。第1学年～第9学年の児童生徒が各教科の学習の成果として、作品や掲示物を校内で展示しました。教科は図画工作科、小学部家庭科、クラブ・部活動、美術科、技術・家庭科、社会科、国語科、保健体育科、総合的な学習の時間から出品されました。

児童生徒は学年ごとに鑑賞を行い、普段見ることのない他学年の様々な作品に触れることができました。鑑賞シートには作品について感じた美しさや面白さ等がたくさん記入されており、限られた時間の中で細かいところまで作品をよく鑑賞していることが伝わってきました。

また、校内の展示をするにあたり、第5学年～第8学年の学習発表会実行委員は11月から準備を始め、課題や題材のテーマに沿った小看板を制作し、遅くまで各展示の手伝いや片付けをしました。特に小看板については、どうすれば見やすくなるか、作品の特徴を表せるか等、試行錯誤を重ね、工夫を凝らした力作揃いとなりました。



## 第4学年 社会科見学～浅草・中央防波堤見学～

第4学年担任 井原 英昭

1月31日(火)に4年生の社会科見学がありました。社会科の学習を深めるために、今年度は、浅草と中央防波堤を見学しました。浅草では、小グループになって、ボランティアガイドの方と一緒に見学しました。浅草寺や仲見世通りなど浅草の伝統や歴史について、ガイドの方に教えていただき、伝統を受け継ぐ人々の存在や活気ある街並みを実感することができました。



中央防波堤見学では、自分たちの出したごみが、最終的にどのように処理されているのか実際に見ることができました。サンドイッチ工法や焼却、粉碎処理について学び、ごみ処理の工夫について学びました。バスから出て、埋立地を見学したときには、植物の多さや匂いの少なさに驚いていました。同時に、あと50年で埋立地がいっぱいになってしまうことを知り、3Rの重要性に気付くことができました。

教科書や映像だけでは気付かないことがたくさんあります。実際に見て、聞いて、感じたことを振り返り、社会科見学で学んだこと、考えたことを新聞にまとめ、学習を深めていきます。

## 第5学年 社会科見学～明治坂戸工場、埼玉伝統工芸会館～

第5学年学年主任 山崎 晃

2月21日（火）に社会科見学に行きました。5年生にとって、社会科見学は初めてで、子供たちも行く前からワクワクしている様子でした。明治坂戸工場では、身の回りのお菓子製品が流れ作業の中でできあがる様子を見学し、子供たちはその正確さと量の多さに驚いていました。また、工場内では、機械が多く使われていること、最終的な検品は人が行っていることなど、社会科で学習したことをさらに深めることができました。



埼玉伝統工芸会館では、紙漉き体験を行ったり、埼玉の伝統的な手工芸品を目で見たりしてものづくりの歴史を実感していました。伝統的な技法も作り手が少なくなり、伝統をつないでいく難しさを理解するとともに、伝統を守っていくとする素晴らしさを感じることができました。短い時間の中でもたくさんのことを学ぶことができました。



率先して施設の方への感謝の言葉を述べたり、自分たちがどのように行動しなければいけないかを考えたりしており、成長が見られました。残り少ない5学年の生活ですが、相手への思いやり、考えて行動する力を大切に過ごし、6学年に向けてさらなる成長ができることを期待しています。

## 第7学年 能狂言体験学習

第7学年担任 植松 寿行

本校は、各学年で「伝統文化理解教育」を行っています。7年生は、能楽師の安田登先生、狂言師の奥津健太郎先生を迎え、650年の歴史をもつ能狂言を間近で演じていただきました。

謡の低い声が響くとその迫力に驚き、会場は一気に中世に引き込まれていました。「あの声を聞いた瞬間、ああ、すごいものが自分の中に流れ込んだなあ。何百年もの歴史を自分も受け継いでいるんだなあ。」と感動していました。また、代々受け継がれている高価な面は、木に刻まれているから動くはずはないのに、見せる角度を変えると表れる表情が変わること、三角に移動することで瞬間移動できるという便利な約束事があるということ学びました。



人生において、喜びと悲しみは交互にやってくる。どちらかがずっと続くことはないのと同様に、能と狂言は表裏一体。悲しみ、恨みを描いた「能」の後には、必ず笑いを描いた「狂言」で笑い飛ばすことになっているのだそうです。



先生方は、海外でもたくさん公演されてきました。7年生が受けたこの感動が、再び世界に発信できるよう、期待しています。

## 小中交流絵本の読み聞かせ

進路学習部 河西 敦子

みんながどっと校庭に飛び出す昼休み…。でも、この日は多くの子供たちが多目的室に集まりました。西校舎の図書委員が東校舎で大型絵本の読み聞かせをするのです。これは、開校以来続けている、年に4回の小中一貫交流活動の一つです。

題名を読み始めると、直前までの賑やかな空気は一変し、視線は絵本に集中。『キャベツくん』のページをめくるたびに繰り返される「ブギヤー」というセリフに笑い声が響きます。みんなと一緒に笑い、みんなと同時にびっくりするという一体感は、既に読んだことがある本でも、違う楽しさを味わえます。

読後、「ありがとう。」や「面白かったです。」の他に「どうして、ページをめくってすぐに読み始められるのですか。」という質問がありました。下級生には「すごい」と感じる場面だったので。もちろん、何度も練習して臨みますが、「成長すると、誰でもできるようになるんだよ。」と委員長は優しく答えていました。下級生は上級生に憧れ、上級生は自分の行為を喜んでもらった達成感が自信につながられる、本校ならではの素敵な活動です。

読み聞かせの肉声の温かさは「心の脳に届く」とも言われています。感情豊かな子に育つよう、読み聞かせの機会をたくさん作っていききたいものです。



### 【教員の人事異動に関する報道発表日の変更について】

東京都教育委員会は、例年4月1日に教員の人事異動について報道発表を行っていましたが、令和5年は、テレビ・ラジオ等で3月21日（火）17時以降、新聞で3月22日（水）に発表することとしました。

つきましては、練馬区の通知を受け、本校では3月24日（金）の修了式において、児童生徒へ転出（退職）する教員の紹介をします。

## 3月行事予定

新型コロナウイルス感染症に関連して今後変更する可能性があります。  
☆令和4年度より相談予約の専用携帯の番号が変わりました。

日	月	火	水	木	金	土
			3/1	2	3	4
			都立高校発表	安全指導 委員会 たてわり班遊び 学校保健委員会	保護者会(1256)	
5	6	7	8	9	10	11
	朝礼 避難訓練 都立後期2次出願	保護者会(78)	9年生を送る会	クラブ 都立後期2次入試	虹を渡ろう式 4年生に感謝する会 保護者会(34)	
12	13	14	15	16	17	18
		卒業式予行(69) 午前授業(1234578)	都立後期2次発表	卒業式前日準備 午前授業(8年は式場準備 のため5時間)	第12回卒業式 6・9年以外は家庭学習	
19	20	21	22	23	24	25
		春分の日		大掃除 5時間授業	修了式 給食終 午前授業	
26	27	28	29	30	31	4/1
春季休業日						
2	3	4	5	6	7	8
春季休業日				始業式 着任式 給食始(2345689)	入学式(17) 1・7年以外は家庭学習	

### 教育相談場所

西校舎3階「相談室」

東校舎1階「あったまルーム」

☆中学部 スクールカウンセラー(上草)火曜日9:00～17:00 心のふれあい相談員(大内)木曜日9:00～17:00

☆小学部 スクールカウンセラー(中村)月曜日9:00～17:00 心のふれあい相談員(木村)火・木・金曜日9:00～14:00

相談予約は専用携帯へお願いします。小学部:080-7798-3201 中学部:080-7798-3336(5・6年生は中学部用でも可)